

新しい文化、新しい社会の創出を ！

情報処理センター所長 今 泉 重 夫

情報ネットワークを基盤とした本格的な高度情報化社会は、人間生活のすべての面を一新させる。データ、文字ばかりでなく、音、画像、映像などマルチメディア情報のデジタル通信が可能となり、距離を超えたボーダレス社会（ゼロ距離社会）が出現し、これにより現存社会とは質の異なる自由な生活空間を獲得することができる。人間社会のあらゆる面を変えるかもしれない。（マルチメディア）情報通信により、人間生活がより潤いありゆとりある豊かなものになる。人々はこれを情報革命と呼んでいる。

情報科学も新しいパラダイムに入っている。従来の情報科学の目的は、“いかにコンピュータのハードウェアとソフトウェアを使いこなすか”であったが、最近では“情報コンテンツを創出する”ことが重要なテーマである。情報コンテンツには、教育コンテンツ、医療コンテンツ、経済コンテンツ、生活コンテンツ、、、など数えればきりがない。人間生活の全てに関わる情報コンテンツの企画、開発、製作、運用に関する能力についても習得する必要がある。つまり、情報コンテンツとは、新しい文化、新しい社会を創出することに他ならない。新しい文化、新しい社会の創出が可能になったのは、これに必要な“Computer Network”，“Java”，“Applet”などのツールが整備されたからである。

奈良大学も有用な情報を世界に発信し、情報ネットワークを利用した新しい文化、新しい社会をいかに創出していくかが、今後の課題である。また、高度情報化社会には、光の部分だけでなく、影の部分もあることを見落としてはならない。